

球都桐生野球ラボ整備補助事業（詳細）

1. 事業の概要

1.1 事業名 球都桐生野球ラボ整備補助事業

1.2 本事業の範囲

本事業の範囲は以下のとおりとする。

- (1) 球都桐生プロジェクト推進協議会（以下、協議会）の要求を満たす野球ラボ候補地の選定、契約
- (2) 協議会の要求を満たす野球ラボ整備
- (3) 環境整備からサービス提供開始までの計画作成
- (4) 整備したラボの運営・保守・管理
- (5) 球都桐生プロジェクト他事業との連携

1.3 履行期間

野球ラボ整備期間

交付決定日から令和6年2月29日まで

1.4 履行場所

各自において作業を行う場所を確保し、それにかかる費用は自己負担とする。

2. 野球ラボ整備に関する基本要件

2.1 野球ラボ整備

野球ラボ整備の基本方針は以下のとおりとし、球都桐生プロジェクトの目的や基本方針等を勘案し、整備すること。

- (1) 最新鋭の野球科学に対応したスポーツテクノロジー機器の導入
(投球に関する取得データ要件：球速、回転数、回転軸、回転効率、縦と横の変化量、リリースポイントの位置・角度、投球軌跡予測など)
(スイングに関する取得データ要件：バットスピードまたは打球速度、バット角度、手の最大スピード、スイング時間、効率など)
- (2) 野球科学の専門知識を有するアドバイザーによる分析、評価などのサービス提供
(ラボに導入する機器から入手できるデータを理解し、パフォーマンス改善、故障予防に関して適切な提案ができる知識を有する)
- (3) パフォーマンス測定だけでなく、トレーニングも並行して行えるスペースの確保
- (4) フィジカル測定として、身長、体重だけではなく、体組成を計測できる機器の導入
(体組成取得データ要件：筋肉量、体脂肪量、身体発達点数、部位別筋肉量、体成分分

- 析、基礎代謝量、体型チェックなど)
- (5) 小学生から高齢者まで、それぞれの年代、目的に応じたソリューション提供体制
(発育期における成長曲線、骨年齢の変化など成長期野球選手の身体的特徴を理解し、
体組成や体力測定から状態を把握することによって、身体成熟度に合わせたフォーム、
練習内容の提案、トレーニング、生活習慣に対するサポート)
 - (6) 同施設利用者向けの Web サイト構築、運営、管理
 - (7) 同施設を活用した定期的な野球スキル向上イベントの開催
 - (8) 同施設を活用した定期測定会の実施とそれに伴うデータ管理、分析サポートの提供
(最新技術を用いた、データ収集、解析、および共有ができる環境の整備。また、コン
ピュータ、データベース、ソフトウェアツールなどを活用し、利用者に可視化して伝
えられる野球ラボ環境の整備)
 - (9) 最先端機器を活用した分析を可能とする専門アドバイザーを有すること
 - (10) 個人利用だけでなく、団体利用も視野に入れた運営体制構築
 - (11) 使用目的を野球に限定せず、他競技でも活用できる環境づくり

3. スケジュール管理・遂行

3.1 野球ラボ整備に関する計画書

補助事業者は契約締結後、本事業における目標、作業項目と役割分担、スケジュール管理
方法等を記した「野球ラボ整備計画書」を作成し、提出すること。

3.2 会議の開催

プロジェクトの遂行にあたり、事前協議期間、検討会議を行うこと。